氷見市立海峰小学校　学校だより№９
令和５年２月１７日発行

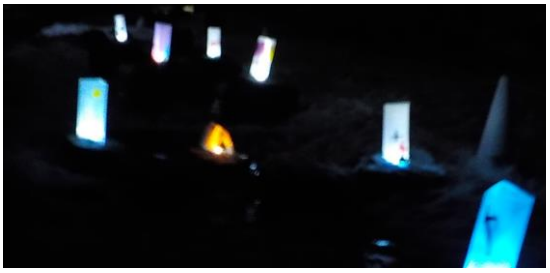
海峰

学校長　西　裕之

温かさの中で

２月２日に６年生が「光フェスティバル」を開いてくれました。６年生は２学期の図画工作科の学習でランプシェードを製作しました。出来上がった作品を校舎の横を流れる「せせらぎ」に飾り、光の美しさを感じてもらいたい、家族やこれまでお世話になった先生方に感謝の気持ちを伝えたいという趣旨で企画した会です。

外も暗くなった夕方６時ごろ、フェスティバルが始まりました。６年間の思い出スライドショー、女子児童２人によるギターとキーボードのコラボ演奏、全員で心を合わせたハンドベル演奏。どれも子供たち自身で企画したプログラムでした。



私はこの光フェスティバルでの子供たちの姿を見て、何とも言えない温かい気持ちになりました。難しいハンドベルの演奏では、音がスムーズにつながらない場面もありました。それでも、子供たちがひたむきに演奏している姿が微笑ましく、心の中で子供たちを励まし、頷きながら聴いていました。きっと家族の方は、我が子の成長を重ね合わせながら子供たちを見守っていただけたことと思います。

せせらぎの周りに置いたランプシェード。雪に反射してとても綺麗な光の世界でした。光の温かさと家族の温かさを感じながら素敵な時間を過ごすことができた光フェスティバルでした。卒業までちょうど１か月。６年生の子供たちにとって、いよいよ卒業の文字が見えてきました。

★☆★☆★☆★☆★☆★☆ 学校からのお知らせ ★☆★☆★☆★☆★☆★☆

◇河教諭の教育実践記録が県小教研･研究奨励賞を受賞しました

本校は昨年から２年間、県小教研図画工作科の研究指定を受け、研究を進めてきました。河教諭がその実践をまとめ、令和４年度県教育研究論文に応募したところ、研究奨励賞という名誉な賞をいただくことになりました。子供たちとともに歩んだ３年間の研究が評価され大変うれしく思います。

◇卒業式のマスクについて

文部科学省より、卒業式のマスク着用については、個人の判断に委ねるという指針が出されました。本校では、これまで国の指針に準じ、日常の学校生活においてはマスクを着用し、体育や屋外ではマスクを外して活動することを推奨してきました。卒業式は卒業生にとって一生に一度の儀式的行事であること、卒業生と在校生の間には距離が保たれること等を考慮し、以下のように対応します。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

・卒業生は、入退場、卒業証書授与、卒業の歌ではマスクを外す。
・在校生は基本的にはマスクを着用する。ただし、声を出さない場面では、家庭の判断でマスクを外して参加することも可とする。
・呼びかけや全校で歌を歌う場面においてはマスクを着用する。
・教職員、来賓や保護者の方はマスクを着用する。